

メーデー宣言

本日、私たちは多くの働く仲間と共に、第91回福島県メーデーを前例のない形で開催した。

今私たちを取り巻く状況は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県内のあらゆる産業において深刻な影響を及ぼし、震災復興需要の低下や、海外の経済影響、度重なる自然災害対応など、経済動向と社会生活は過去に経験のしたことのない不透明さにより、恐怖と不安に満ち溢れている。

このような厳しい状況下にあっても、命をつなぎ、社会生活を維持するために必要な職場で、日々懸命に活動している私たちの働く仲間がいることを、連合福島全体で共有し、心より感謝と敬意を表したい。

連合福島はこれまで、感染症の影響により困難で過酷な状況に直面している、構成組織・単組・組合員の切実な声を受け止め、行政等の関係機関に対し、雇用と安全健康、県民生活を維持・確保するための対策と環境整備を強く求めてきた。

引き続き、連合福島の社会的責任において、全ての組合員とその家族を守る取り組みを進めるとともに、全ての働く仲間が団結を強化し、極めて厳しいこの難局を必ず乗り越えていくことを全体で確認したい。

「メーデー」は労働者の国際連帯の日であり、今年100年の節目を迎える。改めてメーデーの原点に立ち、第91回福島県メーデーにおいて「ふくしま」で働く仲間の団結と連帯を再認識し「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現を目指し、運動を展開していくことをここに宣言する。

第91回メーデー万歳！！

2020年 4月29日
第91回福島県メーデー